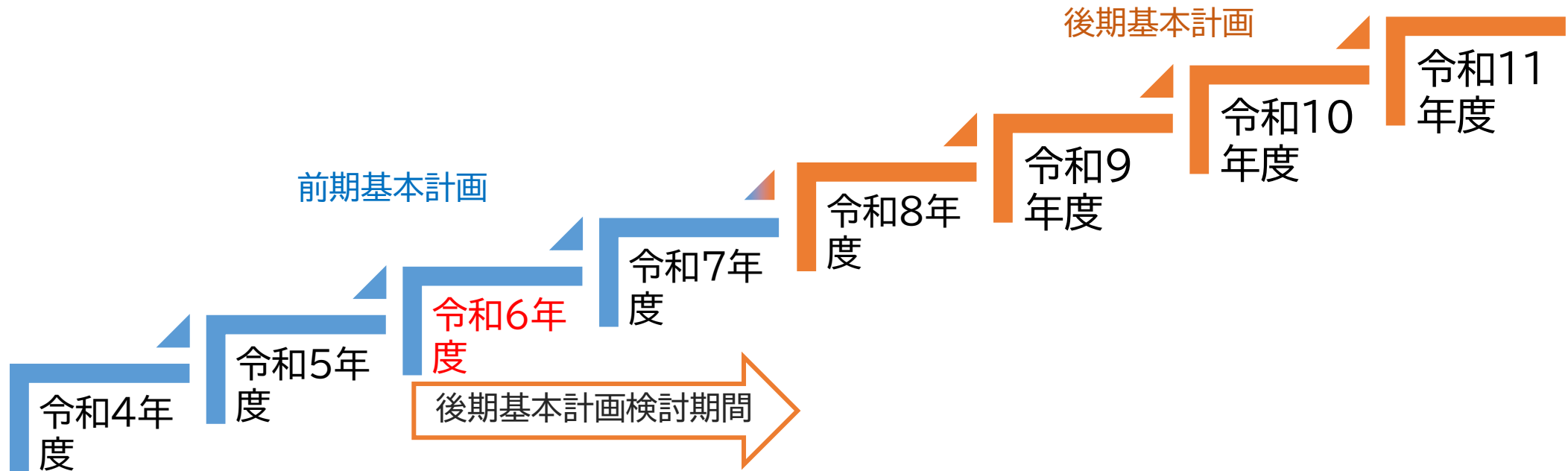


---

# 令和6年度政策立案の 基本的な考え方

# 第7次府中市総合計画における令和6年度

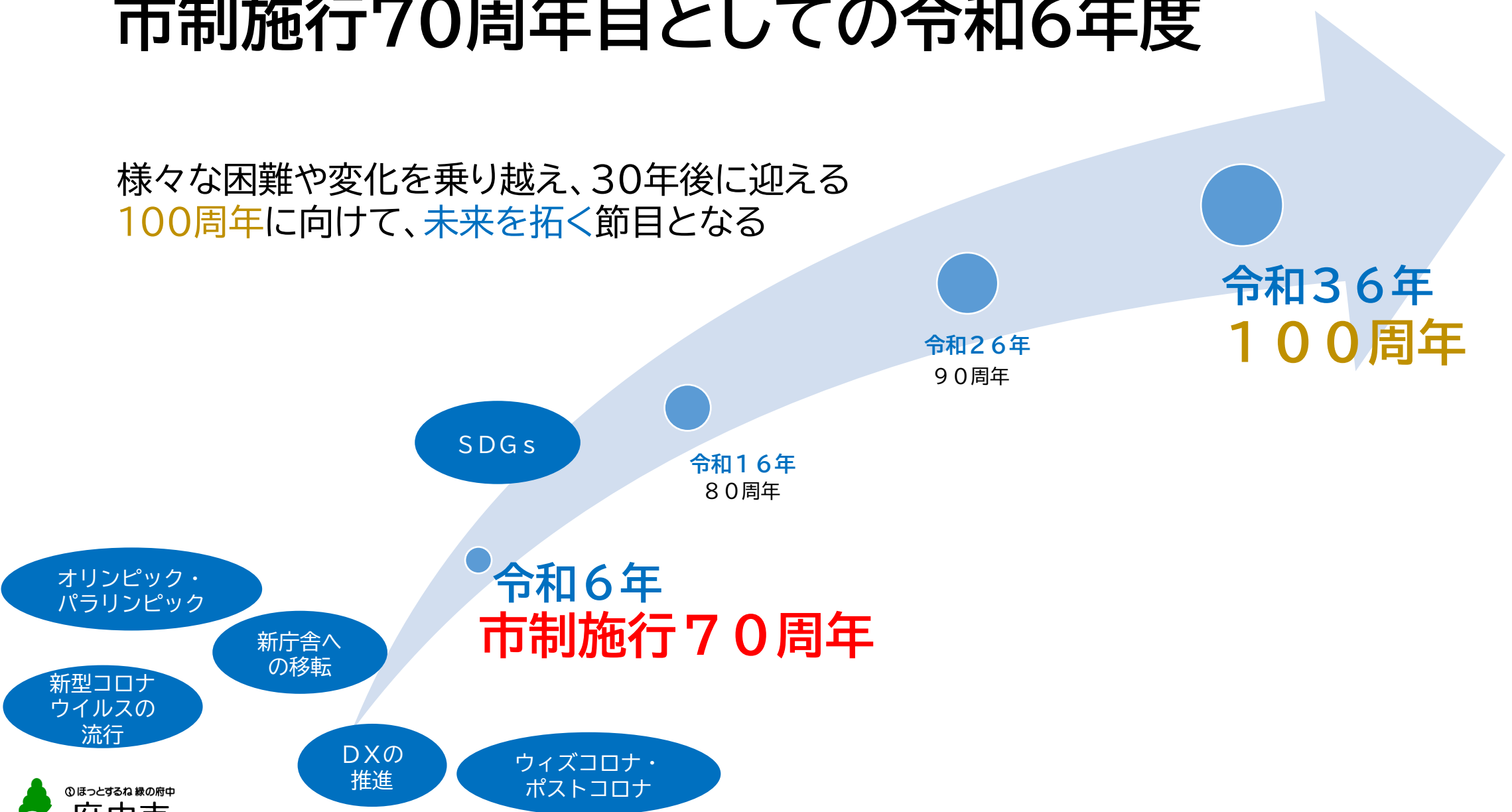
都市像 「きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中」



前期基本計画の3年目であり、計画の達成に向けて加速させるとともに、後期基本計画に向けた検討が始まる重要な年度

# 市制施行70周年目としての令和6年度

様々な困難や変化を乗り越え、30年後に迎える  
100周年に向けて、未来を拓く節目となる



---

# 府中市が100周年時に目指す未来

- ◆子どもを**生み、育てたい**と誰もが思うまち
- ◆環境にやさしく、**持続可能**なまち
- ◆**災害に強い**まち
- ◆**歴史・文化**を大切にするまち
- ◆**市民協働**が一層進化したまち

# 市政を取り巻く社会環境と課題

- ◆超高齢社会・少子化
- ◆気候変動の影響による自然災害の多発
- ◆資源価格の高騰、円安の加速化による市民生活・地域経済への影響
- ◆新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行



30年後も、魅力的なまちであり続け、  
市制施行100周年の姿を思い描くことができる政策

# 令和6年度政策立案に向けた視点

【市制施行100周年を見据えた視点】

## ◆子どもを生み、育てたいと誰もが思うまち

➔ すべての事業において、子育てしやすいまち、子育てしたいまちの実現に向けた事業を展開すること

## ◆環境にやさしく、持続可能なまち

➔ ゼロカーボンシティの表明都市として、すべての事業において、環境へ配慮すること

## ◆災害に強いまち

➔ 共助の取組を推進するため、人と人のつながりを生み出す事業を展開すること

## ◆歴史・文化を大切にするまち

➔ 温故知新の心を持ち、新しい未来を創っていくこと

## ◆市民協働が一層進化したまち

➔ 多様な主体が結びつくことで、地域の課題解決に近づけていくこと

# 令和6年度政策立案に向けた視点

## 【時代の変化や社会情勢に対応する視点】

- ◆「未来を拓く」というテーマをもとに、市制施行70周年を盛り上げること
- ◆新庁舎おもやの業務における効率的・効果的な運用を検討すること
- ◆2030年(令和12年)までを達成目標とするSDGsを意識すること
- ◆DXの推進については、市民サービスの向上を第一に考えること
- ◆地域における女性活躍の推進に向けた事業を展開すること
- ◆物価高騰等による影響を踏まえ、地域経済活動や市民生活を支える施策を検討すること

# 令和6年度政策立案に向けた視点

## 【持続可能な行政運営に関する視点】

- ◆行政評価の結果を踏まえ、内容や手法、コストについて点検・精査すること
- ◆外部委託などの民間活力の導入については、市職員が担うべき部分と民間に任せる部分を改めて見極め、効果的かつ効率的な運用に努めること
- ◆既存事業の見直しや廃止に加え、クラウドファンディング等の手法による財源の確保に努めること
- ◆市民や事業者との対話を通して新たな価値を創造する協働共創の取組を推進すること
- ◆市民の利便性や業務の効率性の向上に向け、変化を恐れず、チャレンジすること